

2024年11月度 高島屋営業報告

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、営業報告で開示する売上高につきましては、従来の基準（総額売上高）で開示しております。

〔売上高 総計〕

㈱ 高島屋 計	※1	+4.9
---------	----	------

(前年比 単位:%)

㈱ 高島屋 および 国内百貨店子会社 計	+2.5
㈱ 高島屋 および 国内百貨店子会社 既存店計	※2 +4.5

〔店舗・事業部別 概況〕

(前年比 単位:%)

	売上高	入店客数		売上高	入店客数
大 阪 店	+5.9	+3.3	E C 店	+13.1	-
堺 店	△1.6	△0.5	㈱ 高島屋 各店 計	+4.5	+1.8
京 都 店	※3 +3.6	△7.0	岡 山 高 島 屋	△5.7	+2.1
泉 北 店	△1.8	△0.1	高 崎 高 島 屋	△3.9	+5.2
日 本 橋 店	+7.3	+2.3	㈱ 高島屋 各店 および 国内百貨店子会社 計	+2.0	+0.5
横 浜 店	+4.8	+10.6	㈱ 高島屋 各店 および 国内百貨店子会社 既存店計	※2 +4.1	+1.9
新 宿 店	+7.0	+4.2	法 人 事 業	+23.0	
玉 川 店	△2.8	+2.7	ク ロ ス メ デ ィ ア 事 業	△18.9	
大 宮 店	△8.3	+2.1			
柏 店	※4 △0.4	△6.0			

- ※1. ㈱高島屋の売上高は、㈱高島屋各店、法人事業、クロスメディア事業を含みます。
 ※2. 2024年7月に営業を終了した岐阜高島屋の前年実績を控除しています。
 ※3. 京都店は「洛西店」の売上高と入店客数をそれぞれ含みます。
 ※4. 柏店は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高と入店客数をそれぞれ含みます。

〔商品別売上高〕

(前年比 単位:%)

	㈱高島屋	㈱高島屋 および 国内百貨店子会社		㈱高島屋	㈱高島屋 および 国内百貨店子会社		㈱高島屋	㈱高島屋 および 国内百貨店子会社
衣料品	+10.8	+7.7	食料品	+2.1	△0.1	サービス	△21.4	△21.2
紳士服・洋品	+7.6	+4.5	生鮮食品	+0.2	△2.3	その他	△135.9	△136.0
婦人服・洋品	+11.0	+8.1	菓 子	+5.0	+2.6			
子供服・洋品	+3.1	△0.6	惣 菜	+3.8	+1.7			
その他衣料品	+26.9	+24.1	そ の 他	△1.7	△3.6			
身のまわり品	+13.9	+11.7	食堂・喫茶	+3.2	+0.2	合 計	+4.9	+2.5
家庭用品	+19.5	+15.5	雑貨	+9.4	+7.5			
家 具	△1.5	△3.4	化粧品	+14.1	+11.4			
家 電	+8.7	+6.0	美術・宝飾品・貴金属	+12.3	+10.9			
その他家庭用品	+30.2	+24.9	そ の 他	△14.5	△15.9			

○百貨店売上高の前年比(※既存店対比)におきましては、店頭売上高+2.0%(※+4.1%)、免税売上高+29.9%、免税を除いた店頭売上高△0.9%(※+1.3%)で推移しました。

○法人事業は、受注が堅調に推移したことにより、前年実績を上回りました。

クロスメディア事業は、通販カタログの計画的な部数、ページ数の削減影響により前年実績を下回りました。

○12月の店頭売上高(15日までの累計 ※既存店対比)は、前年比+15.3%、免税売上高は、前年比+24.3%、免税を除いた店頭売上高は、前年比+14.4%で推移しています。

※上記の数値は、第3四半期決算に伴う売上高修正を反映しております。(11月度はマイナス、12月度足元は同額プラスの売上高修正)

売上高修正を除く実質の前年比(※既存店対比)は以下のとおりです。

11月度：店頭売上高+8.0% 免税を除いた店頭売上高+5.6%

12月度： " +8.5% " +6.9% (15日までの累計)